

# 東員議会だより

おめでとう



希望を胸に

## 新議会構成決まる 2P

・新年度予算決まる	4P
・条例の制定	8P
・一般質問（13名）	10P
・問責決議を可決	23P
・ひとり言	23P

111号

平成24年4月20日発行

3月定例会

発行 三重県東員町議会

# 構成です

## 臨時議会




木村宗朝副議長




南部武司議長

◎委員長  
○副委員長


任期満了に伴い、新しいメンバーでの臨時議会を2月27日に開催しました。  
議長、副議長の選挙後、議会運営委員会と4つの常任委員会の新しい役員・委員  
を選任し、東員町部設置条例の一部を改正する条例の制定など4議案を審議し、全  
会一致、賛成多数で可決しました。




近藤敏彦




○ 南部 豊




◎ 藤田興一



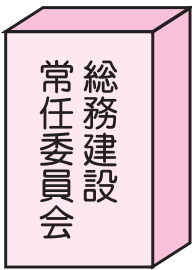
伊藤守一




川瀬孝代




上原君代




総務建設  
常任委員会




近藤治隆




○ 島田正彦




◎ 種村博行




大崎潤子



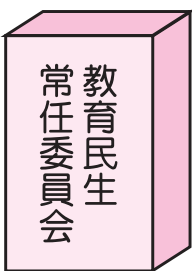
山本陽一郎



木村宗朝



鷲田昭男



教育民生  
常任委員会

# 新しい議会

監査委員	鷲田 昭 男	桑名広域清掃事業組合 議 会 議 員	南 部 武 司
桑名・員弁広域連合議会議員	木 村 宗 朝	藤 田 興 一	
議会運営委員会	◎伊 藤 守 一	○大 崎 潤 子	島 田 正 彦
	種 村 博 行	川 瀬 孝 代	藤 田 興 一
議会広報常任 委員会	◎島 田 正 彦	○上 原 君 代	南 部 豊
	種 村 博 行	木 村 宗 朝	藤 田 興 一
予算決算常任委員会	◎川 瀬 孝 代	○近 藤 治 隆	他11人
消 防 委 員	島 田 正 彦	近 藤 敏 彦	近 藤 治 隆

## 機構改革、賛成多数で可決

東員町部設置条例の一部を改正する条例の制定について

機構改革については、組織の強化を図り、住民サービスの向上を目指すため、町長部局に「総務部」「生活福祉部」「建設部」に加え、町政の総合計画および調整、総合開発計画および実施、広報および統計などの事務を担当する「企画部」を設置するものであり、企画部には政策部門の強化を図るものです。

### 質 疑

**問** 機構改革が縦割り行政をさらに大きくするという危惧が感じられますが、そのようなことはあり得ませんか。

**答** 企画部を設置し、独立させることによって、各部をまたいだ横断的な

政策を展開できるものと考えます。

**問** 教育総務課の削減は教育に大きな支障はありませんか。

**答** 教育総務課を学校教育課に入れ、人力的に充実を図りながら学校教育の振興に努めます。

### 反 対 討 論 (藤田議員)

次期副町長を採用するという前提条件での機構改革であり、副町長が決定した段階での機構改革にすべきであることから反対します。

### 賛 成 討 論 (鷲田議員)

変革を求めるときは大きな変化をしなければ出来ません。今回の機構改革は仕事をする中での一歩と判断し賛成します。



# な財産を!



## 3月定例議会

東員町議会3月定例会が、3月8日から29日までの会期で開催されました。町長の所信表明に続き、平成24年度一般会計72億2900万円の内一部修正案が提出され、予算総額72億900万円となりました。また、特別会計予算、平成23年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算や条例制定など29議案、委員会発議2件が提出され、全会一致、一部賛成多数で可決されました。

### 平成24年度の主な事業は

・庁舎等改修工事	9,844万円
・小学校改修工事	7,861万円
・中学校改修工事	3,747万円
・給食施設整備工事	9,952万円
・総合文化センター屋上防水工事	4,626万円
・笹尾幹線舗装補修工事	4,500万円
・ふれあいセンター駐車場整備費	1,387万円
・町道大木八幡新田線道路整備費	7,700万円

### 質疑

**問** 総合体育館前の駐車場拡張工事の計画内容を示してください。

**答** 植栽やモニメントなどを撤去して、約50台の駐車増を考えています。

**問** 中部公園管理委託料3300万円の内訳を教えてください。

**答** 緑地の芝生等の管理費2600万円、管理棟の業務費が390万円などです。

**問** 中部公園の管理棟の研修室改修費として349万1000円が計上されていますが、どこが管理運営をするのですか。

**答** 観光協会と商工会がタイアップして管理運営を行います。

**問** いずみの「パン工房」となった経過、将来への展望を伺います。

**答** 一般企業へ就労できない人たちの雇用のためです。4月から役場や企業等へ移動販売をします。

# 一般会計

# 次世代に貴重



**問** 不登校対策事業研修会講師派遣委託料20万円はどのような内容ですか。

**答** 各学校でアンケート調査を行い、外部講師による、教員の研修をし、その資料を基に活用していくための委託料です。

**問** 給食センター維持管理経費9952万円の内訳を教えてください。

**答** 空調関係3100万円、ボイラーの蒸気配管関係5500万円、入出荷ロビーの庇が880万円、床下全面補修が300万円などです。

**問** スポーツ協会を作ったことによる経費削減はどれだけですか。

**答** 職員が3人から2人になり、人件費が870万円ほど減りますので、差し引きで520万円ほどの削減です。

**問** 耐震性貯水槽の清掃は、3カ所ありますが、すべての貯水槽ですか。

**答** 平成24年度は、笹尾中央公園を予定しており、3年間で、3カ所を行います。

## 一般会計予算修正案

まちづくり土地利用計画策定委員報償費およびまちづくり土地利用計画アドバイザー業務委託料を削除する修正案  
(否決)

**賛成討論(上原議員)**  
東員駅から役場にかけての地域は、調整区域で優良農地であり、規制の多い開発の可能性の少ない地域で、夢はあってもお金を使って計画を立てる事業ではないと考えます。

障害者福祉施設整備事業補助金を削除する修正案 (可決)

**賛成討論(上原議員)**  
障害福祉事業は基本的には賛成しますが、この事業案の資料が出されたのは委員会の質問の後で、資料の説明もありませんでした。パンの売れ行きが不透明なので、実績を検証してください。

# H24年度の特別会計・企業会計予算の状況は

国民健康保険	予算総額26億380万円（前年度比4.8%増）です。被保険者を6,330人と推計し一人当たり年間平均106,623円(前年度対比361円減)となりました。
後期高齢者医療	予算総額は1億8,110万円（前年度比12.7%増）です。平成24年度は保険料の見直し年度であり、所得割率は7.55%、均等割額は39,120円と決定されました。被保険者は2,324人を見込んでいます。
介護保険	予算総額12億9,650万円（前年度比6.2%増）です。第5期介護保険事業計画における介護給付費、地域支援事業費では地域における包括的、継続的なマネジメント事業などを計上しています。
下水道事業	笹尾地区のマンホール蓋改築工事3,200万円、下水道台帳作成業務委託料3,487万円などです。 北勢沿岸流域下水道維持管理負担金は1㎡当たり58円から54円に減少し、一般会計から3億6,013万円を繰入れました。
水道事業	給水戸数8,910戸、1日平均給水量8,315㎡。 高区水道施設の整備工事や南大社・中上地区に配水管布設工事、計器取り付け工事などを行います。

## 国民健康保険

**問** 特定健康診査等事業費が前年度比較で200万円減っている理由は何ですか。

**答** 昨年度までは受診率を50%で予算計上していましたが、昨年度の実績39・3%の状況から受診率を45%に想定しました。

## 介護保険

**問** 平成24年度の第1号被保険者（65歳以上）の人数は何人ですか。

**答** 見込み人数は5364人です。

## 反対討論（大崎議員）

改定された保険料が計上されている特別会計です。反対します。

## 賛成討論（島田議員）

居宅介護、介護予防、高額サービスなど様々な給付費と地域支援事業を継続実施するためのもの。あることから賛成します。

## 後期高齢者医療

**問** 収納率を教えてください。

**答** 平成22年度の確定分が99・76%です。平成23年度分（2月末現在）は84・68%です。平成24年度も同じような数字を想定しています。

**問** 短期証、資格証の発行、滞納者の状況を教えてください。

**答** 短期証が2人で分割して納付してもらっています。資格証は0人、保険証の未交付も0人です。

## 反対討論（大崎議員）

平成23年度に比べて6・4%増となります。この医療保険は所得が無くても均等割額を支払わなければなりませんので反対します。

## 賛成討論（島田議員）

高齢者が年々増加していることにより給付費が伸びます。この後期高齢者医療制度を維持するためには、保険料の見直し

は必要であることから賛成します。

## 水道事業

**問** 残留塩素計設置工事とは何ですか。

**答** 中上加圧ポンプ場に設置し、残留塩素濃度を計測して、安全な水の供給を確保するものです。

**問** 水道事業支援業務委託料507万円は何年続くのですか。

**答** 単年度で終わる予定です。

## 下水道事業

**問** マンホール蓋の改築工事の183カ所は残りの全部ですか。

**答** 交付金の要件が平成25年度から変更となるために、平成24年度で前倒し、残りを改築します。

**問** 下水道の償還最終年度はいつですか。

**答** 30年償還ですから30年後です。

# H23年度 補正予算

## 一般会計

歳入歳出6573万5000円を増額補正し、73億7924万8000円としました。

歳出では、全般的に入札等に伴う差金の精査による減額と、基金積立金や園舎建設工事費の増額です。

歳入では、実績に応じた地方交付税等や前年度繰越金及び事業債の増額と下水道整備基金繰入金や子ども手当負担金等の減額です。

### 質疑

**問** 委員退職等記念品代とありますが、どのような委員ですか。取りやめたらどうですか。

**答** 行政協力員、選挙管理委員や議員及び町長・副町長、教育長、町職員等が対象です。

検討してしかるべき措置を講じます。

## 国民健康保険

**問** 鳥取地内雨水排水整備工事の1155万円が800万円の減額となっていていますが、三百数十万円が出来たのですか。

**答** 6月の増額補正で新たな工事費として1400万円を計上しましたが、県との設計協議で排水経路の見直しがあり、設計時点で設計金額が880万円となりました。また、入札差金も260万円発生して入札差金の合計金額が780万円になりました。

### 質疑

**問** 高額療養費が増えているが、どれくらい伸びていますか。

**答** 前年度対比で4%増となっております。

**問** 特定健康診査の受診対象人数と受診率はどのくらいですか。

**答** 受診対象者は4614名です。2月末までの受診者数は2116人で受診率は45・86%です。

## 後期高齢者医療

歳入歳出を1億3408万9000円を増額し、予算総額を2億3941万8000円とします。

歳入では、後期高齢者医療広域連合保険料負担金の増額と事務費負担金の減額を、歳入では一般会計繰入金を減額し、不足する財源を前年度繰越金で調整します。

### 質疑

**問** 今後の後期高齢者医療費の伸び率はどのくらいですか。

**答** 1人当たりの医療費は、平成22年度は1・86%、平成23年度は1・57%、平成24年度は1・62%を見込んでいます。

## 介護保険

歳入歳出を3106万5000円を増額し、予算総額を12億6668万9000円とします。

歳入では、居宅介護サービス計画費および高額介護サービス費の増額と居宅介護サービス給付費の減額などです。

## 下水道事業

歳入では、電算システム改修費用に係る国庫補助金の増額です。

歳入歳出を329万2000円を減額し、予算総額を7億2974万4000円とします。

歳出では、入札差金等に伴う工事請負費の減額と北勢沿岸流域下水道建設負担金の増額です。

歳入では、開発に伴う受益者負担金の増額と町債の減額です。



# 条例

東員町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

宿直および日直の1回当たりの手当4200円を5600円などに改正するものです。

住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

外国人住民を住民基本台帳法の適用対象に加えることにより、今後は外国人住民の方々にも住民票の写しが発行されるもの。

東員町町税条例の一部を改正する条例の制定

東日本大震災からの復興に関し、臨時措置として、平成26年度から平成35年度までの間、個人住民税の均等割額を500円引き上げるものです。

反対討論（上原議員）

住民税納税者は、低所得者も高額所得者も同じ500円で不公平な税金です。県民税の500円も加算されるので1人が1000円を10年間払うこととなります。累進課税にすべきと考え反対します。

賛成討論（近藤治議員）

東日本大震災の復興財源を確保するための地方税の特例が創設され、本町の条例も改正が必要ですので賛成します。

東員町出生祝金及び小学校入学祝金支給条例の廃止

平成22年度から出生祝金および小中学校祝金として、一件に5万円を支給してきた事業を廃止するもので、1年間の周知期間を設けて、平成25年4月1日から施行するものです。

反対討論（大崎議員）

2年しか経過していない制度を費用対効果がないという結論は拙速すぎ、廃止する根拠になりません。代替施策および財源を示してから廃止条例を出すべきです。

賛成討論（鷲田議員）

支援策として全ての3歳児以上の保育園児および幼稚園児に支援を行う方向性で検討されていることから賛成します。

東員町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

より所得の高い世帯に新たな負担を求めることで、中間所得者層の負担の軽減を図るものです。

東員町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、公営住宅法が改正されることにより、条例を改正するものです。

東員町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

平成24年度から平成26年度までの3年間事業で、所得基準額を200万円から190万円に変更し、所得段階数を8段階から11段階に変更するものです。

反対討論（大崎議員）

町民税非課税者も保険料納付義務があり、逆進性が強く、低所得者には非常に重い負担となっていますので、反対します。

賛成討論（島田議員）

今後急速に高齢化が進む中、現状の保険料では、安定した介護保険事業ができないことから、保険料の改正はやむを得ない理由から賛成します。





樋口 和人 氏

住所 三重郡菟野町

新しく副町長に選任することに賛成多数で同意しました。

副町長に

# 各議員の賛否

## 平成24年2月臨時会

議案審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

審議結果	議案名	議員名													
		近藤治隆	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	種村博行	上原君代	鷲田昭男	川瀬孝代	木村宗朝	藤田興一	南部武司	伊藤守一	山本陽一郎	大崎潤子
可	東員町部設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	—	○	×	×

議長は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席

## 平成24年3月定例会

議案、発議の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

審議結果	議案名	議員名													
		近藤治隆	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	種村博行	上原君代	鷲田昭男	川瀬孝代	木村宗朝	藤田興一	南部武司	伊藤守一	山本陽一郎	大崎潤子
可	東員町町税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	×
可	東員町出生祝金及び小中学校祝金支給条例の廃止について	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	—	○	×	×
可	東員町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	×
否	平成24年度東員町一般会計予算 (まちづくり土地利用計画策定委員報償費及びまちづくり土地利用計画アドバイザー業務委託を削除する修正案に対するの賛否)	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	—	×	○	○
可	平成24年度東員町一般会計予算 (障害者福祉施設整備事業補助金を削除する修正案に対するの賛否)	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○	—	×	○	○
可	平成24年度東員町一般会計予算 (修正案を除く原案に対するの賛否)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
可	平成24年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	×
可	平成24年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	×
可	副町長の選任について	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	—	×	○	○
可	水谷町長に対する問責決議	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○

議長は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席



伊藤守一

## 若者定住促進条例の継続を 可否の判断をします

第5次総合計画の人口と就業構造の推計では、人口の維持と生産年齢人口の増加を図っていきますと述べてあり、そのために若者定住促進条例を制定して取り組んでいきます。大変効果がある制度と評価しますので、平成25年以降の取り組みについて伺います。

町長 平成18年度から平成20年度まで「東員町定住促進奨励金の交付に関する条例」を制定して人口の増加を図ってきました。また、平成22年度



一日でも早い着工を

から平成24年度まで、新たに「東員町若者定住促進奨励金の交付に関する条例」を制定して、若者の人口増を図っています。平成18年度から実施した制度と平成22年度から実施している奨励金制度の検証を行い、可否の判断をします。

### イオンの開店は

第5次総合計画の土地利用基本方針では、東員インター付近の商業施設の導入を推進とあります

が、イオンのオープンに向けた進捗状況と、関係する東海環状自動車東員インターの進捗状況を伺います。

町長 東日本大震災でイオンの経営計画の見直しがあり、東員店の規模などの検討がされ、平成26年春ごろ開店と聞いています。また、東員インターから四日市ジャンクションまでの開通予定は、平成27年度となっております。

現在、長深丘陵部北の路体盛土工事などが施工されています。

### 放課後児童クラブ補助減額は

新聞報道によると、放課後児童クラブ補助金12%減額とありましたが、町の影響額と他市のように基準どおり支給する要望書の提出をされないか伺います。

町長 当初予算で国・県の補助金として、既に歳入の予算計上していま

したが、三重県が発表した新年度の「放課後児童対策事業補助金」を国・県から12%削減されると影響額は、147万2000円の減額になります。私も、2月21日に鈴木知事とお会いし、補助金の十分な確保をされるように、直接申し入れしました。さらに、2月27日付けで再度、放課後児童クラブ入所者が増加している中、児童の安全・安心な居場所を確保するため補助基準どおり、予算措置を講じるように要望書を提出しました。

※ほかにケーブルテレビ事業について質問しました。



安心して遊ぼう



近藤治隆

# 電算システム運用コストは 5千万円の削減を目指します

役場の電算システムのランニングコストは高すぎです。

民間企業におけるシステム投資額は売上の0.5%から1%が妥当と言われていますが、現在の東員町の電算システムでは約1億4000万円もの予算が毎年つきまわっています。この金額は予算の約2%を占めており、民間企業と比べると約2倍から4倍の費用がかかっています。

電算システムを見直すことで、最大で約1億円

の削減が見込めますが、今後どのようにお考えか伺います。

総務部長 電算システムにかかる運用コストは本町のみならず、すべての自治体の課題であり、本町といたしましては、今後5年間で5000万円のコスト削減を目指します。

### 再質問（一問一答）

電算システムを導入する際の入札において、初期投資額の、予想ができていない事と、ランニン



システムの見直しを

グコストが考慮されていない事は問題です。問題を解決するためにも、知識の深い専門家を入れて電算システムの見直しをする必要はないですか。

町長 システム導入時の不透明さには懸念を抱いています。今後、中立的な専門家を入れて見直していきます。

### エネルギー対策は

東員町としてもエネルギー自給率を上げるための取り組みは欠かせないものだと考えます。

今後どのような取り組みをしていくのか伺います。

町長 小水力発電や太陽光発電など、導入の可能性を調査しており、その結果を待って、今後の方針を決めていきたいです。

### 再質問（一問一答）

今後進めていく上で、産学官の連携をとり、専



気をつけて渡ろう

門家を入れて、現在の東員町の自然エネルギーを活用できる土地、これは公地や民地を問わず土地の棚卸調査が必要ではないですか。

町長 公共、民間ともに可能性の調査は行っています。

### 通学路の安全確保は？

子どもたちの通学時の安全確保について、いなべ街道を横断する交差点

に横断歩道橋を設置していただけないでしょうか。  
建設部長 現在、整備されていない交差点4カ所においては、横断歩道橋を設置するのは非常に難しいです。





藤田 興一

北勢線は

住民の意見を聞く



どうなるの

北勢線運営事業負担金として平成15年度から10年間で55億円という膨大な資金を2市1町で負担してきましたが、この平成24年度で終了となります。

北勢線の存続などについて議論がされていますが、次の3点について町長に質問します。

①北勢線対策推進協議会における現状の協議内容を公表してください。

②北勢線対策に関連する四部門の連携状況は連動されていますか。

③東員町長としての考え(方針)を示してください。

町長 ①は、2月に3回の非公開の協議を行いました。

幹事会から、当初の覚え書きに基づき11年目以降は自主運行の実行を三岐鉄道側に要求をしていましたが、三岐鉄道から赤字解消が困難などの理由で11年目以降も支援継続の要請がありました。

それを受けて幹事会で精査を重ね、平成25年から平成27年までの3力年

を支援期間とし、平成28年度以降は改めて協議を行う支援案の提出がありました。

本町といたしましては、協議内容を一度持ち帰り、議会や住民の皆さんの意見を伺いたい旨の提案を行いました了承をいただきました。

②は、北勢線に関する組織は、北勢線運営に関する重要な事項を決定する北勢線対策推進協議会があり、その下部組織として北勢線対策推進協議会幹事会と北勢線対策室があります。

そして、北勢線に関する重要な事項を諮問し、答申を得るための組織として北勢線対策審議会の四部門がありますが、それぞれ連携して役割を果たしている認識しています。

③は、議会や住民の皆さんのご意見を伺い、2市1町にまたがり運行されている鉄道でありますから、他市の意見も聞きな

から、最終判断することになるものと考えています。

オレンジバスは

今動いているオレンジバスのかわりに、新しい地域交通システムを構築するとありますが、その概要を伺います。

町長 玄関まで車が来て、行きたい所へいつでも行ける「ドア-to-ドア」を視野にいれ、オレンジバスの検討も行いながら地域の需要に応じた

便利で効率的な新しい「地域交通システム」を構築していきます。



便利になるのかな



南部 豊

# 若者定住促進条例は 制度の検証を行います

制度の内容に少し縛りが多く、せっかく東員町内に永住しようと決め一大決心で住宅を建て、この制度の恩恵を受けようとしても受けられません。中身の充実について見解を伺います。

町長 本町におきましても少子高齢化による人口の減少が見込まれることから、本町への若者の定住促進並びに本町の住宅取得者および人口の増加を図ることを目的にしております。奨励金の交付対象者は、新たに住宅

を取得した者が配偶者との年齢の合計が90歳以下の者、または母子および寡婦福祉法に規定する配偶者のない45歳以下の女子で、現に20歳に満たない児童を扶養している者、若しくはこれに準ずる父子家庭の父が本町に引き続き10年以上定住することを確約した者が対象となっております。

現在実施しています制度の検証を行い、今後の定住促進事業について検討します。



いつ住めるの

## 高齢者の福祉は

ひとり暮らしの支援の中で日常生活用具の給付事業があります。給付対象者は、在宅のおおむね65歳以上のひとり暮らしの方々に対して、電磁調理器、火災警報器および自動消火器など給付されています。これらの給付用具は、ひとり暮らしの方々だけでなく、高齢者夫婦など、必要とされている方々が多いと考えます。給付の拡大を図ることではできませんか。

また、事業に対して知らない方もたくさん見えます。どのようなPRをされているのか伺います。

町長 給付対象者の要件については、給付種目ごとに「給付を必要とする、低所得の寝たきり高齢者やひとり暮らし高齢者など」と定めており、給付などの実施にあたっては、ひとり暮らしを基本としながら高齢者のみの世帯などであっても、



これで安心

寝たきりの高齢者を含むなど対象者の心身状況、住居の状況および世帯の状況などを踏まえ、地域ケア会議により状態を把握し、老夫婦世帯などで、必要とされる対象者に対し給付事業を実施しております。

給付の拡大につきましては、今後の高齢者の状況、長期的な財政の状況も鑑み、慎重に検討します。PRにつきましては、町ホームページ、広報とういん、暮らしの便利帳



川瀬孝代

# 子育て支援を 検討していきます



代替エネルギーに

子育ての中で妊娠から出産、0歳から18歳までの子育て情報を掲載し、分かりやすく一冊にまとめた「子育てガイドブック」を提案します。

町長 東員町らしいオリジナリティーのある「ガイドブック」の作成に前向きに検討します。

【再質問（一問一答）】

インフルエンザは、感染すると肺炎などを合併し重症化します。集団でのまん延で学級閉鎖など猛威を奮っています。現

在の予防接種助成は就学前までです。感染予防、医療費削減のためにも小学6年生までの拡大を求めます。

町長 予防には、手洗い、うがいの励行なども有効です。現在の接種率を向上させていくことが課題です。厚生労働省の動きや他市町の接種拡大状況、費用対効果も含めて考えていきます。

【再質問（一問一答）】

地震による落下物などがを防ぐために安全対策

として学校に「防災ヘルメット」の配備を求めます。

町長 導入するとすれば、管理面や耐用年数などを考慮し別の安全対策も検討していきます。

## 環境対策は

東員町における、太陽光、水力、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及拡大について伺います。

町長 町としては、小水力発電や太陽光発電について導入可能性の検討及び事業効果について調査をしています。メガソーラー計画など積極的に再生可能エネルギーの活用を考えていきます。

【再質問（一問一答）】

夏の節電対策としてガラス専用の無色透明の省エネ紫外線カット機能のある「新型エコフィルム」があります。役場などへ導入を求めます。

町長 節電効果を見込まず事務所内の照明をLEDに改修します。今後「新型エコフィルム」は費用対効果を検証し検討していきます。

【再質問（一問一答）】

学校において、地球温暖化の一環として、省エネルギー化が求められています。環境教育に活用していく「エコスクール」の取り組みを伺います。

教育長 各学校に太陽光発電施設を整備する計画を立て、準備を始めたところ発電効率など再考

すべき課題に加え、原発事故発生以降、政策転換などから今、計画を見送っています。環境ホスターづくりや節水の呼びかけ、ごみ分別の学習、リサイクルの森の見学、節電では、学校全体の1年間使用量約9%削減するなど取り組んでいます。



省エネ対策に





近藤敏彦

# 高齢者福祉の充実は

## 5つの柱を掲げ目標に



遠慮なく相談を

高齢者福祉事業は、東員町でも様々な施策を打ち出していますが、高齢者の方々をはじめ、その家族の方々に対して、一人ひとりの状況にあったきめ細やかな支援が必要と考えます。高齢者福祉の充実を図るために、どのような支援事業があるのか、窓口や相談はどこでするのか、啓発方法はどのように行っているのか伺います。

生活福祉部長 高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画において「健康づくり・介護予防の推進」「介護保険事業の充実」「高齢者福祉の充実」「安心のまちづくりの推進」の5つの柱を立てて基本目標として施策を進めています。

町長 現在、員弁川の水資源を活用した小水力発電の可能性調査を行っています。また、民間開発による5メガワットから10メガワット規模でのメガソーラー計画のお話もいただいております。エネルギーの自給できるまちづくりを目指したいと考えております。

また、可燃ごみの削減をスローガンに、雑誌の資源化や生ごみの完全堆肥化の政策を進めるなどのエコタウン構想に沿ったまちづくりの推進を図っております。

また、可燃ごみの削減をスローガンに、雑誌の資源化や生ごみの完全堆肥化の政策を進めるなどのエコタウン構想に沿ったまちづくりの推進を図っております。

町長 現在、員弁川の水資源を活用した小水力発電の可能性調査を行っています。また、民間開発による5メガワットから10メガワット規模でのメガソーラー計画のお話もいただいております。エネルギーの自給できるまちづくりを目指したいと考えております。

いま脚光を浴びている自然エネルギーの活用を含め、暮らしに誇りが持て、生きがいを感じられる町にするために、町長が描かれているまちづくり構想について伺います。

### 今後のまちづくりは

建設部長 東員インターは平成27年度、イオンは平成26年春に完成予定です。

建設部長 東員インターは平成27年度、イオンは平成26年春に完成予定です。

### 東員インター、イオンの

東員インターとイオンの完成時期、そして完成後の交通安全や治安維持対策はどうなっていますか。



いつ開通するのかな

総務部長 警察のパトロールの強化を求めるとともにイオンにも警備を要請し、自治会やシニアクラブ、防犯団体にも協力を要請して児童の通学時の交通安全や治安維持に努めるよう進めていきたいと考えています。



鷲田昭男

# 町民税収の見込みは 毎年2%の減収になります

高齢化は全国的なことで東員町だけではありません。

今後、これまで多くの税金を払って町に貢献された多くの方が退職されます。

さらに、少子化により働く若者が減少することから当然税収の減少は目に見えています。今後数年間どの程度減少が見込まれるのか伺います。

総務部長 日本経済が直面する問題点の一つとして高齢化社会の進行が挙げられます。高齢化は



若者あつまれ

今後の日本経済に大きな影響を及ぼすと同時に地方財政にとっても様々な影響が危惧されます。

東員町でも着実に高齢化は進行しており、現在は20%ですが平成32年度には30%まで上昇すると予想されます。

平成25年度以降の個人住民税の見込みについては、生産年齢人口の減少から毎年2%の減少になると考えています。

## 投票率の減少は

平成22年度参議院選挙から投票所が統合されました。先の町長選挙および今回の町議会選挙の投票率は良いとは言えません。低調の原因を伺います。

総務部長 平成22年の参議院選挙から行政改革の一環として、10投票区から6投票区に統合しました。

統合は事前に調査と議論を重ね実施いたしました。

投票率については一概に原因を特定することはできないと考えていますが、今後の対策として国政選挙で発行されている選挙公報を町の選挙においても作成する検討を始めたところです。

## 給食センターの衛生管理は

これから夏に向けて湿度が上がりがり温度も上昇してきます。これにより食中毒の発生する季節になります。

これを防止するためにどのような衛生管理を行うのか伺います。

教育委員会事務局長 共同調理場方式の学校給食センターにおいては、食中毒が発生することのないよう努めなければなりません。



消毒を丁寧に

従事者には衛生管理基準に基づき衛生管理を徹底させ、食中毒の発生防止に努めています。また、講習会や安全衛生に関する研修会に参加し専門性の向上を図っています。

※ほかに指定管理者制度について質問しました。



山本陽一郎

# 4月からの機構改革は 所管業務の一部を見直します

2月27日の臨時議会において、行政の機構改革について条例案が上程され、議決しました。行政とは公正で公平な立場であり、住民の皆さんが納得できる行財政運営であるべきだと考えます。今回の組織改革についての意義について伺います。

町長 4月から実施します機構改革については、今後ますます財政的に厳しくなる本格的な少子高齢化社会の到来に備え、まちづくりの方向性を模索する政策部門、財政基盤の強化および福祉部門

の強化を念頭に所管業務の一部見直すこと、また窓口対応がよりスムーズに行えるように見直し、住民サービスの向上を図ります。

## 歴史をつむぐために

4月7・8日には伝統行事の大神祭があります。町にとっても貴重な伝統行事であり、地域の皆さんは、先人たちがつむいでこられた素晴らしい歴史や伝統を守るために一生懸命に取り組んでいきます。しかしながら、2月

15日にその行事に関連がある区民会館で火災があり、騎手の衣装や若者たちの半てん、馬具などが大きな被害を受けています。町としてどのような支援ができるのか伺います。

町長 大神祭における「上げ馬神事」は悠久の歴史をつむいでこられたものであり、その価値、重みは十分に認識しています。県の無形民俗文化財にも指定されており、町の観光分野においても中心的な役割を担っていただいています。現在、伝統保存・継続の観点から流鏝馬保存会に補助をしており、今後も行政の立場で出来得る範囲内の支援をしていきます。

## 公水の定義は

懸案となっている四日市市上下水道局との水道供給問題に関するその後の交渉経過と今後の見通しについて伺います。

町長 平成22年12月17日付けで四日市市長に対し水源の枯渇を防止し、

水源の保護に係る施策実施の協力を要請し、平成23年11月8日付けで東員町・四日市市水道水源保護施設検討会の共同設置に関する協定を締結しました。平成24年1月27日



資源を大切に

には両市町の部長級を含む検討会を開催し、本町が地下水を含む環境保全の取り組み状況を説明しました。

現在は、四日市市上下水道局に対して環境保全に対する事業負担を強く求めています。





木村宗朝

# 桑名東員線改良を 十分検討します

街づくりを考える上で、道路は重要な要素です。銚尾東進入路から東員インターチェンジまでの県道桑名東員線は丁字路が2カ所あります。緩やかなカーブの道路にするほうが良いのではないのでしょうか。

町長 本路線は、本町都市計画道路路北大社銚尾長深線として東員駅西を高架で渡る路線で計画されています。都市計画道路の見直しを含め、今後十分に検討します。



交通対策の充実を

## 駅周辺の活性化は

街づくりには、駅の利便性を考え、駅周辺を活性化するのが良いのではないかと思います。

東員駅、穴太駅周辺の活性化策を話し合う場を作り、いろいろな方にアイデアを出してもらったらどうかと考えます。

私が一つ思っているのは、穴太駅周辺の滞在型クラインガルテンを中心とした活性化策です。

町長 中心市街地形成に向けてコンパクトシティ

## 土地の無償貸与は

町所有の中部公園周辺などの土地を有効利用するために無償貸与や廉価で貸し出すことも考え、道の駅、宿泊施設、レストランなどを民間で作ることを考えたらどうでしょうか。

町長 平成23年度に行った計画調査では、行政での実施は難しい事業と位置付けられました。民間事業者の方から新たな事業提案がありまして前向きに検討します。

## 職員の地域活動は

町民の一人ひとりが何らかの形で地域社会に関われることが、生きがいにも街づくりにも良いのではと思います。

その前に、役場職員の方が公務以外で街づくりのためにも地域活動をすることを考えたらどうでしょうか。

町長 現在でも、消防団やPTA、スポーツ少年団、自治会への参加やそのリーダー的役割を担っている職員も少なくありません。しかし、職員の地域活動は、個人と公務員の立場の切り分けや一部地域住民や団体との密接な関係を持つことに対する公平性確保の懸念などを理由に消極的な見方もあります。職員ももっと議論していきます。

※クラインガルテンとは、週末などに近郊地区から訪れて野菜・果物などを栽培することです。



土地の有効利用を



上原君代

# 原発ゼロ・東員町宣言を 宣言しません



放射能測定器

原発事故は1年以上経ても人々を苦しめ、故郷に帰れない人たちもいます。放射性物質に田畑・水・海・空が汚染され、環境と経済にダメージを与えています。次の事項について伺います。

①三重県の小水力等事業水利施設活用促進事業で調査している神田土地改良区などの事業の結果はどうですか。

②子どもの命と健康を守るため、給食食材を放射能測定器で測定・公表をしてください。

③「原発ゼロ・自然エネルギー活用のみち東員町宣言」をしてください。

町長 ①は、調査期間が3月末なので、説明は新年度に入ってからです。

②は、放射性物質の暫定規制値を上回る食品は、出荷制限などにより市場に出ませんので、自主的な食材の測定はしません。

③は、町内に原発の立地や将来の計画も無く、複数の自然エネルギーに向けた取り組みを始めますのであえて宣言する必要はないと考えています。

再質問（一問一答）

平成23年に学校屋上への太陽光発電施設設置と、一般家庭の太陽光発電施設設置への補助金の要請

をし、「国・県の補助制度の動向を見極めながら判断する」との答弁でしたが、今の考えはどうですか。

町長 政府の電力の買取価格が決まりましたら、各地の取り組みも増えると思いますので様子を見ます。

## 社協の大改革とは

「社会福祉協議会の大改革」とはどういうことですか。

町長 社協の事業は民間事業を圧迫しています。社会福祉法で社会福祉事業を営むものの過半数が、社協にかかわっていないなければいけません。今の社協は違います。

再質問（一問一答）

社協のシニアサークルが無くなります。改革とは補助金の削減ではないですか。

町長 シニアサークル



いつまでも元気に

の件は、公民館講座や地域のシニアクラブなどの重複を避けるためです。

## 公施設の高齢者減免は

高齢者が東員町の施設を使用するときの減免制度をこれからも維持しますか。

町長 引き続き使用料減免の方向ですが、他団体との調整を図ります。

## 東西線に変わるものを

オレンシバス東西線の廃止時に、その地域への措置を約束されましたが、2年経過してもそのままです。経過と今後の見通しはどうですか。

町長 現行のバス利用実態や他市町のデマンドタクシーなどの実態調査を行いました。「地域交通システム」構築に向け研究します。



種村博行

# 1年目の計画と実績は ホームページで公表します



目標値を守ろう

第5次総合計画を確実に実行するために各部署に与えられた計画とその進捗を伺います。

町長 本計画は平成23年度から平成32年度までの長期計画です。

政治情勢の変化や住民ニーズの高度化・多様化など柔軟・流動的に対応できるよう、現在、各課におきまして、その分野における変化と新しい動向をつかみ、平成23年度の総括と今後の取り組み方針を整理しています。代表的な指標である

「みんなの目指す目標値」も検証しています。結果が出ましたら、ホームページで公表します。

## 生きる力の育成は

総合計画では、子どもたちに「生きる力」の育成を重視した教育内容の充実が課題としています。が、具体的に伺います。

教育長 子どもたちに生きる力を身につけさせることは、これからの社会を生き抜き、変化の激しい社会を担う上で、大

変重要であると考えています。この生きる力は、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランス良く育成することで育まれるものです。

本町では生きる力の育成を目指し、学力の向上をはじめ、様々な課題解決のための諸施策を行っています。重要なことは確かな学力や豊かな人間性は言うまでもなく、それを土台とした社会に参画する力だと考えています。

社会に参画する力とは、自己実現と社会の発展に貢献する力であり、これからの激動の時代を主体的・創造的に生きる力、社会に参画し、その発展を支え、他者と共に人生を豊かなものにする共生の力だと考えています。このことを教育目標にし、子どもたちのくらしの時間の充実、学力の極化の防止、子育て支援の充実に向けて様々な教育施策を展開していきます。

## RDF発電事業は

県のRDF運営協議会はRDF発電事業を平成29年で撤退し、平成32年までは継続に要する費用は県と市町が折半で負担することで合意しています。

ところが松阪市は負担額が過重として新ごみ焼却炉が稼働する平成28年度以降は離脱することを表明しました。離脱したあと、残る市町で負担をすることになるのですか。

町長 この離脱により本町の負担が増えることがないように、しっかりと議論していきます。



RDF発電なくなるのかな





島田正彦

# 大震災後の防災取り組みは 自助・共助の対策が重要です



見やすくします

大震災のあと、東海・東南海・南海地震を予測した防災の取り組みに対して次の8点について伺います。

①避難所などの表示は高齢者にも分かりやすいですか。

②防災公園の整備と活用はされていますか。

③避難所にソーラー発電の照明灯が必要と思いますが、取り組みについては。

④下水道管利用のマンホールトイレの設置が必要と

思いますが、現状はどうなっていますか。

⑤地域の防災組織の現状と強化策は。

⑥災害時要援護者支援は。

⑦防災マップの改訂予定はありますか。

⑧各避難所での非常食の備蓄はありますか。

総務部長 ①は、表示内容が分かりづらい所もあり、設置から長期間経過して文字も見づらくなっています。設置場所も含め再点検し改善を図ります。

②は、中央公園・中部公園・陸上競技場を含むスポーツ公園に飲料用耐震性貯水槽の設置と防災倉庫の設置を行っております。

③は、避難所に必要な設備でございますが、災害用として備えるだけではなく学校施設の電力設備として考えております。

④は、災害用トイレとしては、処理剤を使用するタイプの簡易トイレを備蓄しており、マンホールトイレの設置はございません。概設の下水道マンホールに接続するためのプレートも備蓄を進めております。

⑤は、本町の自主防災組織の組織率は100%です。各自主防災組織では、東日本大震災を教訓に、組織強化や防災訓練に取り組んでいます。

⑥は、平成22年度に災害時要援護者名簿を意思確認の上、作成しました。災害時は身近な自治会・自主防災組織・民生委員

を始め、地域の支援をお願いしたいと考えています。

⑦は、改定の時期としては、国・県の新たな被害想定が示され、地域防災計画の改正と整合を図りながら作成したいと考えています。

⑧は、現在、避難場所での非常食備蓄は行っていません。非常用保存食は集中配備品として、大型の防災倉庫に専用の備蓄庫を設け、必要に応じ空



災害に備えて

調を効かせることが出来る環境で備蓄をしています。

\*ほかに町民全員が参画できるまちづくりと福祉の行き届くまちづくりについて質問しました。



大崎潤子

# 介護保険料の引き下げを 600円増になります



民間委託するのかな

介護保険は今年で12年目に入り「老々介護」が常態化しています。法改正により、介護職員の医療行為が可能となります。（吸引・吸痰・胃ろうなど）わずかな研修のみで医療行為を認めてよいのか、あまりにも拙速との批判が起きています。

第5期事業計画の基本計画に、サービス付き高齢者向け住宅整備計画が位置付けられています。特養の待機者が多い中で、家賃補助制度を町として創設するなど、低所得者

が安心して入所できるよう、行政が責任を持つことが必要と考えますがいかがですか。

介護保険料は約600円アップで月額4687円になります。4月からは、後期高齢者医療保険料も値上げされ、年金生活者から「どうやって暮らすのか」との悲鳴と怒りの声が寄せられました。保険料値上げの要因は、国が責任を後退させ、自治体と保険者に負担を強いるからです。町の介護給付費準備基金を取り崩

して保険料引き下げをすべきです。

生活福祉部長 第5期事業計画は、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを一本化して提供する「地域包括ケアシステム」を基本指針に掲げました。

高齢者への家賃補助制度は他施設とのバランス、財源確保も必要であり慎重に検討する必要があります。介護保険料は介護給付費準備基金5000万円を取り崩して、一人当たり軽減は月額225円です。

## 民間委託計画の中止を

学校給食センターは「行革」を理由にして民間委託はすべきでない。安全な給食のために若い正規職員を採用して充実を図り、現行通りの体制で運営すべきです。

教育長 委託で人員的にも手作りなど時間単位での人員配置が可能とな



きれいな池に

り、コスト優先ではなく、安全で安心な給食に取り組みます。

## 安全なまちづくりを

町内の交通安全対策が必要です。笹尾西1丁目入口交差点の信号改善、城山東西線・弁天通丁字路の安全対策を急いでください。

万助溜めは、地域住民の憩いの場です。カワセミも飛来する公園です。町の観光名所として位置

付け、池の土砂を取り除いてください。

建設部長 安全対策は、地元の意向も伺い、いなへ警察に申し入れます。今年度の予算で一部の土砂を取り除きます。

## 町長の問責決議を可決

### 《提案理由》

議員の一般質問に、町長が答弁を拒否したことに對して、議会運営委員会から3月29日の本会議に問責決議案が提出されました。

### 《問責決議文》

決議文は「議員の質問に答弁を拒否し、議長より注意を受けたが聞き入れる姿勢が見受けられなかった。町行政の最高責任者であるという自覚の欠如が甚だしく、議会全体を軽んじる発言であり、自覚と反省を求める」(原文より抜粋)という内容のものであります。

その結果、賛成12、反対1で可決されました。

### ○問責決議とは

国や地方公共団体の議会において、首長など特定の地位にある者に対して、その責任を問う旨を意思表示した議決不信任と違い、法的拘束力はなく、議会としての意思を示す決議の一種。

## ひやとい言

春爛漫の4月。色々な人達の新しい旅立ちの月。それぞれが一抹の不安と希望を交錯させながら一步を踏み出します。

議員活動をスタートさせたばかりの私も同じで、先輩議員方のご指導を頂き勉強の日々です。

町民の皆様の声を聴きながらそれをいかにスピーディーに町政に反映させていくか、代弁者としての役割を今一度初心にかえり心に刻みます。町民の意見、要望を町政に反映させるために広聴活動の充実が重要です。町民、議会、行政がその役割と責任を明確にしたまちづくりが不可欠です。

4月8日、県無形民俗文化財の猪名部神社の上げ馬神事を拝観しました。820年程前からのこの行事に観客があふれ感動しました。

この町には子供歌舞伎もありもっと対外的に東員ブランドを近隣地区に告知しPRの強化が今必要です。

近隣、他市町からの集客が町の活性化に繋がります。町民全員が参画できる町おこしをこれからサポートさせていただきます。

委員長 島田 正彦

## 東員町議会からのお知らせ

### 6月議会定例会を傍聴してみませんか

次回の定例会は  
平成24年6月1日  
開会予定です。  
傍聴をお待ちしています。

皆さんの声を  
聴かせてください

読みやすく分かりやすい議会だよりの作成に心掛けています。皆さんが読まれてどう思われますか、どう感じますか。  
「意見、」感想をお聞かせください。

定例会会期日程・時間・傍聴などに関するお問い合わせは、議会事務局まで  
員弁郡東員町大字山田1600番地 電話86-2813



# 議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。よく読んで答えてください。

問1 議会広報常任委員は何人でしょう。

問2 平成24年度一般会計の予算総額は。

問3 平成24年3月定例会で一般質問した議員は何人でしょう。

▼応募方法  
II官製はがき  
に答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、また議会へのご意見、ご感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

ださい。

▼正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

▼あて先  
〒515-0100  
東員町山田一六〇〇番地  
東員町議会事務局

▼締切り  
平成24年5月19日(当日消印有効)

※ご記入いただきました個人情報については、商品発送及び読者の声などの目的以外には一切使用いたしません。ただし、行政側に対するご意見・質問などの場合は、その内容に応じ、担当課から報告または回答をさせていただきます。



サクラソウ

## これから1年間 頑張ります



### 表紙の写真

稲部小学校卒業式。次のステップに力強く踏み出します。出発進行!!

#### 議会広報常任委員会

委員長/島田 正彦  
副委員長/上原 君代  
委員/南部 豊・種村 博行  
木村 宗朝・藤田 興一

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。

また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。